

TSUV-2 試験方法

平成8年8月1日
泰和電気工業株式会社



不足電圧動作試験

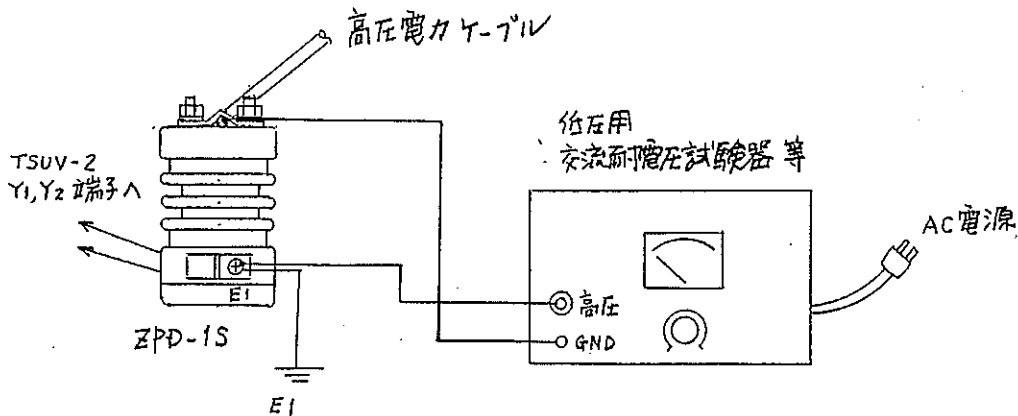
a. 動作概要

6600V高圧電路電圧が定格値の60%以下に降下したとき、動作表示および出力接点が閉路します。

電路に接続された電圧検出器(ZPD-1S)が対地電圧を分圧して、継電器に信号を入力しています。定格対地電圧が停電等により60%以下に降下すると、継電器は入力値を判断して動作表示をし、出力接点が閉路します。

b. 電圧動作試験の方法

- 1) 高圧電力ケーブルは無充電(停電)とし、ZPD-1Sの1次側の断路器(DS)は断路してください。
- 2) 低圧用交流耐電圧試験器を使用し、ZPD-1Sの高圧端子に試験器の高圧側を、E端子に試験器のGND側を接続してください。
- 3) 継電器は、定格対地電圧の60%以下で動作をしますので、電圧を上昇、下降させて動作値を確認します。



試験回路例

C. 不足電圧動作値 (at 50Hz)

定格対地電圧値 $AC6600/\sqrt{3}V$ の60%以下 = 2280V以下